

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

日本発の画期的な新薬を世界へ

② 中長期の経営戦略

1. 研究・開発型への転換

基礎研究から臨床開発まで経営資源を集中。自社技術を基とした研究のみから研究・開発型へシフト

2. 開発パイプラインの拡充

自社新薬の継続開発に加え、他社からのインライセンスを積極的に進め、ライセンスアウト収入の最大化を目指す

3. 複数開発ステージの保有

基礎研究による新薬候補化合物の発見、大学・企業等からのインライセンズ活動により、様々なステージのパイプラインを構築

4. 非臨床試験以降の自社開発

ライセンスアウト時の収益性向上を目指し、事業領域を拡大し企業価値向上を図る

③ 対処すべき課題

① 開発パイプラインの拡充と推進

- ・新薬開発成功確率の低下に対応し、複数パイプラインの保有が必要
- ・基礎研究による新薬候補化合物の発見を強化
- ・既存パイプラインの臨床試験を着実に推進

② 事業領域の拡大

- ・非臨床試験以降の自社開発取り組みを進める
- ・ライセンスアウト時の収益性向上が重要

③ 基盤技術と財務基盤の強化

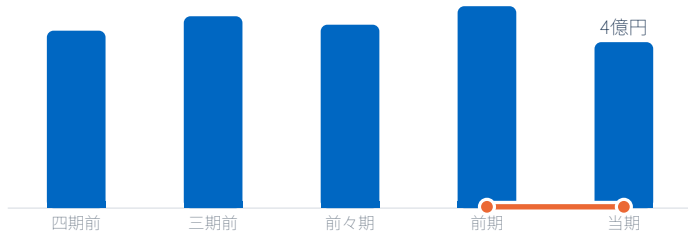
- ・プロテインキナーゼ阻害剤の創製に注力し独自技術を活かす
- ・他社との提携を積極的に推進
- ・必要に応じて資本市場から資金調達を実施

面接で使えるポイント

- ・プロテインキナーゼ阻害剤という独自技術を持つバイオベンチャーとして、基礎研究から臨床開発まで経営資源を集中させている点
- ・インライセンズと自社開発を組み合わせ、開発パイプラインを複数ステージで保有する戦略的な経営
- ・10年以上の開発期間と高リスクを踏まえ、開発パイプラインの進捗を経営指標として位置づけている経営判断

証券コード 4576

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした医薬品の研究開発を行う創業企業

主力事業・セグメント
・ 医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）
・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
4億円

営業利益率
▲159.9%

財務健康度
41点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 42.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
667万円
医薬品内 63位/80社

平均年齢
50.8歳
医薬品内 7位/80社

平均勤続
10.3年
医薬品内 36位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)デ・ウェスタン・セラピテクス研究所【4576】：決算情

